

相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員のみなさま

名古屋市緑政土木局 関係担当者みなさま

お 願 い

常日頃より市民の今と未来のためにご尽力いただき、ありがとうございます。

相生山の道路建設についての意見、および相生山緑地の未来像を含む思いなどを
お届けします。これは、去る5月22日に開催された「いきものイキイキ相生山まつり」
をとりくむ中で出会った「市民の生の声」のほんの一部をまとめたものです。

お忙しいところ、まことに恐縮ではございますが、是非目を通していただき、市民
の心を受けとめていただきますよう、お願いいたします。

例年になく猛暑がつづきます。

ご自愛ください。

ご健勝をお祈りいたします。

2010年8月4日

ラブリーアース J a p a n 事務局

古川 善嗣

地域住民、市民の声を時間の流れで編集しました。
事務局でまとめた意見も、最後に載せました。

・4月/中旬、「相生山の四季を歩く会」常連さん（野並学区・小学生のお母さん）のアドバイス

子どもたちは、自然が好きです。ムシなんかに興味示す子は意外と多いです。それに、自然とふれあう中で子どもを育てたい、と思っている親はたくさんいます。きっと大勢の方が集まってくれると思いますよ。

・5月/月上旬、近隣地区への宣伝中に出会った地域の有力者（担当者のメモから）

もともと、このあたりの人はみんな道路には反対だった。相生山の自然を壊すことを誰も望んでいない。住宅地への車の入り込みや緊急車のことを考えると、仕方ないのかなあと……。 「自然に配慮した道路」ということで納得したかたちになっている。今の相生山の自然が将来的に損なわれるのであれば問題だと思うので、「検証委員会」の判断に注目している。 この催しの趣旨は理解できる。いろんな人が集まって、道路問題だけにとどまらず、意見交換するのは大事なこと。学区にも広げるといい。また、話しましょう。

・5/22 当日の様子は「瀬戸自然の会」会報「モンゴリナラ通信2010.7月号」に掲載【別紙】

・「相生山まつり」アンケートより 抜粋（既述のものは省く）【別紙1.2】

・直後に送られてきた参加者からのメール（主な部分を抜粋）

・・・（前略）・・・私は、のべ30年近く相生山に近い緑区に住んでいる者です。地域の住民として、相生山横断道路は必要ないと考えています。主な理由は、道路は必要ない、ヒメボタルを減らさないでほしい、という2点です。

野並をはさんで、渋滞が起きているのは、もう20年は続いていることは経験から知っています。20年前には、平日19時頃西から東に野並を通過するのに30分近くかかった記憶があります。現在では、10分くらいで済んでいます。地下鉄開通により、通勤の車は減っていると思われます。現在の野並の渋滞は、明らかに市バスの停留所が交差点に並んでいることにより、車線が1車線ふさがれることによると思われます。地下鉄延長で解消されるのではないのでしょうか。

4、5年前に、子どもと初めて相生山でヒメボタルを観ました。竹林に無数の点滅を見たとき、とても美しいと思いました。子どもにせがまれ、その時の感動を求めて毎年観に行くのですが、運が悪いのか、数が減っているのか、「ホテルを見つける楽しみ」程度になってしまっています。

私の場合は、道路建設の始まりとホテルを見られる量が連動しています。子どもたちのためにもホテルの保存をしていきたいと思います。

・・・（中略）・・・相生山に裏道と化している道路もあるため、住民に迷惑がかかっていることは否めません。渋滞はいけない、と更なる便利さを求める私たちにも意識の改革が必要です。そのことを問いかけるような機会が必要ではないのでしょうか。

「相生山まつり」が一つのきっかけになればと今後注目しています。私も何らかの関わりが出来ればと思っています。・・・（後略）・・・（緑区戸笠学区・女性）

・6月/中旬「相生山まつり」で知り合った地域住民（60代、男性）への聞き取り

相生山のすぐ近くに住んでいる。いろんな意見の人がいるが、表立って言う人は少ない。「大きな声の人の意見」が大勢とされているが、本当はそうではない。マスコミの報道は住人の複雑な感情までは伝えてこなかった。「早く工事が終わって欲しい」という声は、「道路建設を進めよ」ということではなく、相生山が静かになって散歩やなんかをゆっくり楽しみたいからだ。できればこのままで残したい、という思いは誰しも強いのではないか。

難しいことはよく分からないが、一度壊してしまったらなかなか元には戻らないのだから、今の時点で慎重に考えてもらいたい。正しい情報が伝えられ、いろいろ考えたり、他人の意見も聞いたりして判断できることが一番だと思う。そういう機会がほとんど無かったと感じてきた。これからどうなっていくのか・・・？

・ラブリーアースのサポーターより

・・・(前略)・・・相生山の今後について、ただ「このままで残して欲しい」では民間の不動産業者が入り込んで住宅地になってしまい、自然が破壊されてしまう可能性が高いので、何らかの「法の網」が必要だと思います。ヒメボタルを名古屋市の「市の天然記念物指定」にするのが一番良いのではと思います。専門家の先生、ぜひ、検討してください。

(名古屋市近郊在住・50代女性)

何気なく通り過ぎていた街の中にある里山、相生山緑地。「いきものイキキ相生山まつり」は、そこへ実際に足を運ぶきっかけになってくれました。

あの優しさいっぱい森の中で、弟が竹馬に乗れるようにと、いっしょうけんめいだった小学生のお兄ちゃんの姿が今も忘れられません。子どもたちに何を残せばいいのか、はっきりと分からせてもらいました。忘れそうになったら、また行きます。(緑区・30代女性)

・ラブリーアース Japan 事務局の意見 ・・・・ 2010.7.11.事務局会議にて

1.) 利便性を求める開発によって相生山の自然(生態系)を損なうよりは、自然(生態系)から多くのサービスを受けたいという意識が大きい。こどもを育てている世代にこの意識が強い。

2.) 道路建設を中止し、建設済みの部分は壊して撤去、もとの山に戻したい。税金を使って作ったものを、また税金を使って壊すのもバカらしいが、自然がとり戻せるなら多くの市民も納得すると思う。最低限の保全で自然の遷移に任せて名古屋市民の「緑の財産」としたい。

3.) 道路建設が中止になった場合の跡地利用の提案について。今は、相生山をどうしたいか？道路建設の是非について、より正確なデータに基づいて話し合われることが最優先と考える。「学術検証委員会」の判断、市民の意思の大勢＝その代表である市長判断によって「中止」の結論が出たならば、その後、市民代表を中心とした「専門委員会」を立ち上げ、じっくりと検討していけばいいのではないか。

4.) 「身近な自然とどう付き合っていくのか？」人びとに考えるきっかけを提供し、解決を図ろうとする継続的な試みを“市民と行政”が共同して作っていく必要があると考える。ていねいに呼びかければ、必ず応えてもらえる。条件は十分に存在している。

***** 以上 *****